

2020(令和2)年度事業報告

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会

I. 2020(令和3)年度事業活動の概要

① 授賞式

2020(令和2)年度(第10期)事業年度は、令和2年4月の授賞者発表(HP上)に続き、第8回授賞式をフランス大使館公邸にて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむなく中止としました。

② 論文募集告知活動

財団活動紹介及び募集告知を更に強化し、募集案内を大学医学部、大学医学部呼吸器科等、がんセンター、がんセンター呼吸器他、がん拠点病院、疫学他の合計約1,000ヵ所に送付しました。

③ 論文応募状況及び審査過程

7月～9月の募集期間を経て、10月から一次選考、年明けから二次選考を行い、3月下旬に第9回受賞者を決定しました。2020年度の応募総数は33篇と昨年の25篇を大幅に上回りました。

※参考(2012年16篇、2013年8篇、2014年18篇、2015年25篇、2016年16篇、2017年19篇、2018年23篇、2019年25篇)

④ エクスプロラシオン・フランス(研究者海外派遣プログラム:通称SSHJ)に係る渡航費・滞在費の助成

第一次選考は駐日フランス大使館科学技術部における選考委員会において選考の結果、次の2名が第一次候補者として選出され、当財団法人に推薦されました。

(1) 国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科 医員 荒川 歩氏

(2) 国立がん研究センター中央病院 がん専門修練医 白川 奈美氏

以上の2名につき、当財団の学識者からなる選考委員会において選考の結果、国立がん研究センター中央病院小児腫瘍科 医員の荒川歩氏に渡航費及び滞在費として800,000円を助成し、当財団のHP上で公表いたしました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から海外への渡航が制限されており、採択された荒川歩氏については、助成金を使つての渡航を延期し、令和3年度中に渡航する計画です。

II. 第9回(2020(令和2)年度)ポールブルダリ科学賞並びに同特別賞受賞者

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」

吉田健一氏 Kenichi YOSHIDA(MD, Ph.D)

ウェルカム・サンガー研究所 博士研究員

【該当論文】

ヒト気管支上皮細胞における喫煙による体細胞性変異

Tobacco smoking and somatic mutations in human bronchial epithelium

(Nature. 2020;578;266-272.)

「後藤喜代子・ポールブルダリ特別賞」

茶本健司氏 Kenji CHAMOTO, (Ph.D.)

京都大学大学院医学研究科免疫ゲノム医学・特定准教授

【該当論文】

宿主由来免疫代謝バイオマーカーの組み合わせによる PD-1 阻害がん免疫治療の
効果予測

Combination of host immune metabolic biomarkers for the PD-1 blockade
cancer immunotherapy.

(JCI Insight. 2020 Jan 30; 5(2): e133501.Published online 2020 Jan 30.)

Ⅲ. 理事会・評議員会の開催状況

第 38 回 定時理事会 令和 2 年 6 月 5 日 (みなし決議にて)

- 決議事項 (1) 2019 (令和元) 年度事業報告及び決算書承認の件
(2) 理事選任の件
(3) 評議員選任の件
(4) 監事選任の件
(5) 諮問委員選任の件
(6) 評議員会開催招集の件

第 20 回 定時評議員会 令和 2 年 6 月 22 日 (みなし決議にて)

- 決議事項 (1) 令和元年度事業報告及び決算書承認の件
(2) 理事選任の件
(3) 評議員選任の件
(4) 監事選任の件
(5) 諮問委員選任の件

第 39 回 臨時理事会 令和 2 年 6 月 29 日 (みなし決議にて)

- 決議事項 (1) 代表理事選任の件

第 40 回 臨時理事会 令和 3 年 2 月 16 日

- 決議事項 (1) 過去の科学賞 (特別賞) 受賞対象 (野尻崇氏) となった論文に
おいて、「研究活動上の特定不正行為=ねつ造、改ざん」が認め
られたことによる受賞の取扱いについて

第 41 回 定時理事会 令和 3 年 3 月 16 日

- 決議事項 (1) 2021 (令和 3) 年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資見込み承認の件
- (2) 2020 (令和 2) 年度科学賞最終選考結果 (授賞対象者及び金額) 承認の件

以上